

八洲学園大学生涯学習学部

学習ガイド

2010

八洲学園大学

学習ガイド 目次

1	何をめざすのか	3 頁
2	何を学ぶのか ~ 科目一覧 ~	5 頁
3	どのように学ぶのか	9 頁
4	本学の資格等取得支援 国家資格・履修証明・科目修得認証等	11 頁
	【紹介】		
	・ リニューアル！ 生涯マネジメント系		22 頁
	・ 日本語力サポートプログラム		

はじめに 我が国唯一の生涯学習学部生涯学習学科

平成 21(2009)年 4 月 1 日に改組した八洲学園大学（以下「本学」という。）生涯学習学部は、新たに「生涯学習学科」を置き、さらに 22 年度には学科内を改組しました。

生涯学習学部生涯学習学科というのは、我が国では本学にしかない新しい学科で、変化の激しいこれからの社会で、もっとも必要とされる生涯学習支援力と生涯マネジメント力を養う新鮮な学科です。

多様な資格・検定の取得支援を行うほか、本学独自の日本語力サポートプログラムが、いま社会で求められている日本語力を鍛えます。

1 何をめざすのか

八洲学園大学

本学は、学則にもあるように、主として通信の方法により有用な人材の養成を企図し、もって社会に貢献するとともに、併せて生涯学習の要望に積極的に応えることを目的としています。

生涯学習学部

生涯学習学部の目的は、生涯学習とその支援および生涯マネジメントについての研究を行い、その成果を生かした教育を通して、社会に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を培い、その基盤となる豊かな人間性の育成を図るところにあります。

生涯学習学科

生涯学習学科は、生涯学習支援系と生涯マネジメント系で構成され、次のような人材を養成します。

- ・企業の能力開発支援を含め、広く生涯学習社会の実現のために社会に貢献し、各種学習支援プログラムをデザイン・実施・運営したり、学習相談に応じたりする人
- ・生涯学習センター、公民館、図書館、博物館等で専門性を生かして働く人
- ・企業などで能力開発を支援する人
- ・企業、自治体等で高いビジネス行動化能力（コンピテンシー）を持って活躍できる人

* ビジネス行動化能力（コンピテンシー）については 22 頁を参照。

生涯学習支援系

職業能力開発を含む生涯学習についての深い識見、専門的知識・技術、その基盤となる豊かな人間性を養います。

たとえば、

- ・社会教育主事、社会教育指導員等として学習支援をデザイン・運営したり、学習相談員として学習者にアドバイスしたりできる人
- ・公民館主事、施設の指導系職員、司書、学芸員等として専門性を生かして働くことのできる人
- ・学校を支援したり、地域づくりに貢献したりすることができる人
- ・NPO法人等で活動し、他者のため、社会のために貢献したりすることのできる人

などです。

卒業単位で「社会教育主事」「司書」「学芸員」の国家3資格が取得できます。そのほか、「学校図書館司書教諭」（教員免許状取得者対象）の国家資格、「生涯学習科目修得認証」や「学習相談員基礎スキル科目修得認証」が取得できます。

我が国の生涯学習推進を担っている著名な講師陣が学習支援の理論とスキルを提供します。

生涯マネジメント系（22頁参照）

eラーニングによる生きた授業による現在・未来のライフステージづくりのために、リニューアルで生涯マネジメント系が新たに誕生しました。

資格・検定試験に活用できる科目が多く、試験合格を支援します。

ビジネス・行政・地域で新たな道を切り拓く力とともに、その基盤となる豊かな人間性を養います。たとえば、

- ・やる力や社会人基礎力（コミュニケーション力、論理力、問題解決力等）を身につけた人
- ・新たなスペシャリストとして、社会で実力を発揮できる人
- ・リーダーとして企業や自治体でマネジメントができる人
- ・定年後に地域で活動するために必要な知識・スキルを身につけた人
- ・起業にチャレンジする人
- ・就転職希望者の仕事移動を診断できる人

社会人のためのビジネス行動化能力（コンピテンシー）育成のための科目群や「税理士」「日商簿記2,3級」就転職相談のための「仕事移動診断士」等の各種資格取得支援科目群があります。

そのほか、履修証明や科目修得認証が取得できます。

【履修証明】

- 「現代経営学の基礎スキルプログラム」
- 「ビジネス・コミュニケーション基礎スキルプログラム」
- 「日本語基礎スキルプログラム」

【科目修得認証】

- 「企業とマネジメントの基礎スキル科目修得認証」
- 「税財務・ファイナンシャルプランナー基礎スキル科目修得認証」
- 「社会人基礎力（Ⅰ）科目修得認証」
- 「日本語基礎スキル科目修得認証」
- 「仕事移動診断士科目修得認証」
- 「省エネ型都市・地域づくり科目修得認証」

また、各科目で資格・検定の取得を支援します。

日本語力サポートプログラム（22頁参照）

正しい日本語の書き方を指導し、日本語力アップをサポートします。

2 何を学ぶのか ~ 科目一覧 ~

(1) 科目一覧

本学の授業科目は、基礎科目、専門科目及び資格科目に分かれています。

基礎科目、専門科目の授業科目はさらに科目群に分けられています。

ここに示すのは、科目群毎の科目名一覧です。

T : テキスト履修科目	S : スクーリング履修科目
SS : セミナースクーリング履修科目	RS : レポートスクーリング履修科目
G : 卒業論文関係科目	空欄 : 休講または開講時に指示あり

基礎科目

S/T... SまたはT

科目名	単位数	22年度		科目名	単位数	22年度	
		春学期	秋学期			春学期	秋学期
生涯学習論1 (生涯における学習設計)	2	S/T	T	法学概論	2	S	S
生涯学習論2 (生涯学習の支援・推進)	2	T	T	経済学概論	2	S	S
現代社会と生涯学習	2	S	S	日本経済・産業概論	2	S	S
生涯学習の方法	2	T		テクノロジーの発達と ヒューマニティ	2	S	S
生涯学習社会と 学習成果の評価	2		T	文章表現1(文章表現入門)	2	S	S
社会教育施設と事業	2	T	T	論述カスキル (アカデミック・ライティング)	2	S	S
図書館概論	2	T	T	才能発揮技法	2	S	S
図書及び図書館史	1	T	T	情報リテラシー (情報活用から考え方・書き方まで)	2	T	T
情報化社会と情報の選択 (公共図書館・大学図書館編)	2	T	T	万葉と日本人のこころ	2	T	T

専門科目【生涯学習支援系】

S/T...SまたはT

科目名	単位数	22年度		科目名	単位数	22年度	
		春学期	秋学期			春学期	秋学期
生涯学習論				図書館学			
生涯学習政策	2		T	児童サービス論	1	S/T	S/T
生涯学習支援システム・ネットワーク	2	S		図書館サービス論	2	T	T
学習支援情報・学習相談	2	T	T	図書館経営論	1	T	T
地域学習支援情報の収集・提供	1	T	T	情報サービス概説	2	T	T
学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	1	T	T	レファレンスサービス演習	1	S	S
学習相談のためのカウンセリング	2	T	T	情報検索演習	1	S	S
生涯学習とキャリア形成	2		T	図書館資料論	2	T	T
生涯学習学研究法（演習）	2	S		専門資料論	1	T	T
生涯学習学新構想（演習）	2		S	資料組織概説	2	T	T
社会教育学				資料組織演習	2	S	S
社会教育計画1（総論）	2	T	T	博物館学			
社会教育計画2（各論）	2	T	T	博物館学（概論）	2	T	T
社会教育課題研究1	2	T	T	博物館学（経営論・情報論）	2	S	S
社会教育課題研究2	2	T	T	博物館学（資料論）	2	T	T
学社連携・融合論	2	T		博物館実習	3	R S	R S
社会教育調査法1（社会教育調査の技法）	2	T		視聴覚教育メディア論	1	T	T
社会教育調査法2（社会教育調査の実際）	2		T	教育の理論	2	T	T
社会教育学研究法（演習）	2	S		特別研究			
社会教育学新構想（演習）	2		S	特別研究(生涯学習支援研究)	2	T	T
				特別研究(社会教育・生涯学習研究)	2	T	T
				特別研究(学習成果を生かす社会システム研究)	2	T	T
				特別研究(生活・地域・学習研究)	2	T	T
				特別研究(図書館学)	2	T	T
				特別研究(日本文化史研究)	2	T	T

専門科目【生涯マネジメント系】

S/T... SまたはT

科目名	単位数	22年度		科目名	単位数	22年度	
		春学期	秋学期			春学期	秋学期
ビジネスと社会人基礎力				経済財政・財務・まちづくり			
現代日本企業概論	2		S	財政学概論	2	T	T
現代マネジメント概論（基礎編）	2	S/T	S/T	地方財政・自治体論	2	S	S
現代マネジメント概論（応用編）	2	S	S	地域開発・まちづくり論	2	T	T
企業経営と コーポレート・ガバナンス	2			都市経営・公共政策論	2	S	S
経営と行動科学	2	S	S	法人税法（総論）	2	S	
リーダーシップ論	2	S	S	法人税法（各論）	2		S
リーダーシップとコーチング	2	S	S	税務と財務諸表	2	T	
仕事学のすすめ （問題解決と意思決定）	2	S	S	株・保険・投資ファンド論	2		T
構想力開発論	2		S	温暖化対策・省エネルギー			
アイデア発見スキル1 （語句・文章から）	2	S		省エネルギー概論	2	S	S
アイデア発見スキル2 （物・論理から）	2		S	資源環境と人間	2	S	S
実践マーケティング	2	S	S	水資源概論 （食料と水・エネルギー・環境）	2	S	S
顧客価値創造の経営学	2	S		仕事移動診断			
生産管理	2			仕事移動診断総論	2	T	T
企業（仕事）と法律	2	S	S	仕事移動診断各論（転職）	2	T	T
企業倫理（基礎）	2	T		仕事移動診断各論（地域社会活動移動）	2	T	T
企業倫理（応用）	2		T	仕事移動診断技法（転職）	2	S S	S S
近代企業家の思想と行動	2	S	S	仕事移動診断技法（地域社会活動移動）	2	S S	S S
論述・コミュニケーション				特別研究			
ラピッドリーディング・スキル	2	S	S	特別研究(企業倫理と企業統治)	2	T	T
読解力スキル1（実践的読解力）	2	S	S	特別研究(行動科学事例研究)	2	T	T
読解力スキル2（学術文書読解）	2	S	S	特別研究(日本語文法研究)	2	T	T
文章表現2（文章と構成）	2	S	S	特別研究(福祉国家と日米経済)	2	T	T
自己表現力スキル1	2	S					
自己表現力スキル2	2		S				
プレゼンテーション・スキル	2		S				
論理的思考1(数学的思考と発想)	2	S					
論理的思考2（論理と表現）	2	S	S				
日本語学概論	2	T	T				

専門科目【両系共通科目】

科目名	単位数	22年度	
		春学期	秋学期
特別講義			
卒業論文関係			
卒業研究演習	2	G	G
卒業論文関係	4	G	G

特別講義の単位数・開講学期等については、開講時に別途お知らせいたします。

資格科目【学校図書館司書教諭】

科目名	単位数	22年度	
		春学期	秋学期
学校経営と学校図書館	2	T	T
学校図書館メディアの構成	2	T	T
学習指導と学校図書館	2	T	T
読書と豊かな人間性	2	T	T
情報化社会と情報の選択*	2	T	T

資格科目（学校図書館司書教諭）は卒業単位として認められません。

*ただし、「情報化社会と情報の選択」は家庭教育専攻の専門科目で、卒業単位に含めることができません。

（２）科目の選択について

本学では、関心のある科目を自由に選択して履修することができます。

生涯学習学部生涯学習学科は「生涯学習支援系」と「生涯学習マネジメント系」で構成されていますが、学生の皆さんは両方の系の科目から自分の目的や関心に合わせて自由に履修しても構いませんし、片方の系の科目を集中的に履修してもかまいません（ただし、正科生として卒業を目指す方は、卒業要件（10頁）を満たす必要があります）。

なお、上記の一覧にあげた科目のほかに当面開講を予定している家庭教育の科目（ホームページに掲示）もあり、幅広い学習をすることができます。それも履修すれば卒業要件(124単位)の単位になります。

3 どのように学ぶのか

(1) 学生の区分

学生は、次の区分のいずれかとして入学します。学生の種類によって履修の仕方が異なります。

学生区分	対象	修業年限・在学年限	取得できるもの
正科生 (1年次)	・本学を卒業することを目的とする方	修業年限は4年以上 在学年限は12年以内	学位記：学士(学術)
正科生 (編入生)	・短期大学等を既に卒業している方で本学を卒業することを目的とする方 ・大学等をすでに卒業している方で、資格取得や履修証明のためなど、本学で多数の科目の履修を希望する方	【2年次相当転・編入】 修業年限は3年以上 在学年限は9年以内 【3年次相当転・編入】 修業年限は2年以上 在学年限は6年以内	学位記：学士(学術)
科目等履修生	・大学入学資格は有しており、本学の卒業を目的とせず、一部の科目のみの履修を希望する方 ・各資格の学歴要件等は既に満たしており、本学では各資格取得に必要な科目のみの履修を希望する方	在学年限は原則3年。 3年後に申請により期限を延長することも可能です。	履修した科目の単位
特修生	・中学卒業など大学入学資格を有しない方 特修生として入学後、本学が指定する20単位のうち16単位を修得し、かつ入学を希望する年の4月1日に満18歳に達していれば、所定の手続きを経て正科生となることができます。	在学年限は原則3年。 3年後に申請により期限を延長することも可能です。	正科生としての入学資格を得た後に、正科生として卒業することで、学位記：学士(学術)が取得できます。

注：正科生、科目等履修生は上記のほか、所定の科目の単位を修得することで、本学が付与している各種資格が取得できます。

(2) 履修方法

履修方法にはテキスト履修、スクーリング履修、卒業論文関係等があります。卒業までに必要な124単位のうち30単位以上は、必ずスクーリング履修を受講する必要があります。

テキスト履修：この履修形態をとる科目をテキスト履修科目(T科目)という

教科書による自学自習を主とし、1単位当たり1回1600字程度(科目によって異なります)の課題レポートを提出し添削指導を受け、課題レポートおよび科目修得試験に合格すると単位が修得できます。

学習の流れ(2単位科目)

履修登録 第1回課題提出 合格 第2回課題提出 合格 科目修得試験 合格 単位修得

2000字程度の論文を書いて合格すると単位が修得できる論文方式の科目もあります。

課題レポートの提出、担当教員への質問等はeラーニングシステムを利用して行います。質問は随時送信可能です。科目修得試験は、通学でもeラーニングシステムでも受験できます。

スクーリング履修:この履修形態をとる科目をスクーリング履修科目（S科目）という

授業の開講日時に合わせてアクセスすれば、通学することなく自宅でメディアスクーリング（双方向ライブ授業）を受講することが可能です。チャットで質問したり意見を述べたりすることができます。もちろん、大学に通学しても構いません。

出席が良好で、かつ最終試験に合格すると単位が修得できます。

仕事等のために、時間割通りの時間に受講できない学生のために、その日に限って受講が認められる再配信授業を一部の科目で導入しています。その日に受講が不可能な場合、やむを得ない理由であれば、担当教員にその旨を伝え、許可を得た上で、録画配信教材で学習してください。

時間割には平日の日中及び夜間に開講される通常スクーリングの他、週末スクーリング、集中スクーリング等があります。本学のwebサイトをご覧ください。

卒業論文関係

希望者のみが履修する選択科目で、卒業研究演習と卒業論文を1年かけて履修します。指導教官のもとで論文を書き、審査に合格すると単位が修得できます。

卒業論文を履修する場合には原則として、それまでに100単位以上修得していることが求められます。

（3）卒業要件

正科生（1年次）

4年以上在学し、下の表に示した科目区分にしたがって124単位以上を修得することで、卒業することができます。ただし、30単位以上はスクーリング履修（S科目）を修得しなければなりません。

区分	選択必修
基礎科目	30
専門科目	64
自由選択科目	30
計	124

注 ア 自由選択科目は、既履修以外の基礎科目及び専門科目から自由に選択できます。

イ 資格科目（学校図書館司書教諭）は卒業単位には含まれません。ただし、「情報化社会と情報の選択」を除きます。

正科生（編入学）

編入学又は転入学により本学の正科生となった場合は、本学入学前に修得した科目から最大60単位が卒業単位の一部として認められます。

その単位数を卒業所要単位数124単位（S科目30単位）から減じた単位数（うち、認定単位数に応じS科目の単位18単位～30単位以上）を修得し、定められた期間以上在学することで、卒業することができます。

4 本学の資格等取得支援 国家資格・履修証明・科目修得認証等

(1) 国家資格

本学では、社会教育主事、図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員の4つの国家資格が取得できます。

社会教育主事、図書館司書、博物館学芸員の3つの国家資格は卒業単位124単位の中で修得できますので、正科生は卒業と同時にこれらの3つの国家資格を取得することが可能です。

教育訓練給付制度と国家資格の取得

本学で取得できる4つの国家資格（社会教育主事、図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員）は、いずれも厚生労働省の教育訓練給付制度の対象として認可されています。1年間で資格科目を修得すれば、教育訓練経費（授業料等にほぼ該当*）の20パーセントがハローワークから支給されます。ただし、科目等履修生に限ります。

*詳しくは、学生支援センターにお問い合わせください。

各資格の取得方法等につきましては、次頁以降をご覧ください。

社会教育主事

短大卒または大学に2年以上在学し62単位以上修得した方が所定科目の単位を修得すると資格(任用資格)が取得できます。

最短期間	合計費用	学歴要件	科目・単位数	スクーリング	通学	備考
1年～	188,000円～	短大卒以上	12～13科目 24単位	0科目～ 5科目10単位	不要	スクーリングは選択科目による

他大学での不足単位のみを希望する場合は1科目から履修可能で、単位修得証明書により証明できます。

開設授業科目	単位	履修形態	開講時期	履修方法	社会教育主事講習等規程で定める科目名	
生涯学習論1(生涯における学習設計)	2	T	春・秋	1(TかSを選択履修)、2の計4単位必修	生涯学習概論	
	2	S	春			
生涯学習論2(生涯学習の支援・推進)	2	T	春・秋	計4単位必修	社会教育計画	
社会教育計画1(総論)	2	T	春・秋			
社会教育計画2(各論)	2	T	春・秋	演習から2科目4単位を選択履修、または課題研究の2科目4単位を履修	社会教育演習	
社会教育学新構想(演習)	2	S	秋			
社会教育学研究法(演習)	2	S	春			
生涯学習学新構想(演習)	2	S	秋			
生涯学習学研究法(演習)	2	S	春			
社会教育課題研究1	2	T	春・秋			社会教育課題研究
社会教育課題研究2	2	T	春・秋			
現代社会と生涯学習	2	S	春・秋	6科目12単位以上を選択履修	社会教育特講1 (現代社会と社会教育)	
生涯学習政策	2	T	秋			
生涯学習とキャリア形成	2	T	秋			
社会教育施設と事業	2	T	春・秋			
学社連携・融合論	2	T	春			
生涯学習の方法	2	T	春		社会教育特講2 (社会教育活動・事業・施設)	
生涯学習支援システム・ネットワーク	2	S	春			
学習支援情報・学習相談	2	T	春・秋			
地域学習支援情報の収集・提供	1	T	春・秋			
学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	1	T	春・秋			
社会教育調査法1(社会教育調査の技法)	2	T	隔年春		社会教育特講3 (その他必要な科目)	
社会教育調査法2(社会教育調査の実際)	2	T	隔年秋			
教育の理論	2	T	春・秋			
生涯学習社会と学習成果の評価	2	T	秋			

教育訓練給付金は上記の科目を1年で修得した場合のみ対象となります。隔学期での開講となる科目もありますのでご注意ください。

最短1年で取得でき、3年までの長期履修計画も可能です。長期履修を計画した場合に加算される学費は学期ごとの学籍管理料(12,000円)のみのため、学費面での負担も少なく、無理なく学習を進められます。

1年での履修例		登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	教科書代	デポジット
総額		20,000円	24,000円	12科目24単位	144,000円	188,000円	約30,000円 ¹	3,000円 ²
内訳	初学期	20,000円	12,000円	6科目12単位 ³	72,000円	104,000円	約15,000円	3,000円
	次学期	0円	12,000円	6科目12単位 ³	72,000円	84,000円	約15,000円	0円

1 教科書代は1科目2,500円前後(科目により異なる)

2 デポジット(預かり金)は、証明書発行手数料などが必要となった場合充当。残額は学習終了時に返金。

3 6科目ずつに限らず、任意で分割履修が可能

図書館司書

短期大学卒業以上の方が所定科目の単位を修得すると資格が取得できます。

最短期間	合計費用	学歴要件	科目・単位数	スクーリング	通学	備考
半年～	190,000円～	短大卒以上	14科目 22単位	3科目 4単位 ～5科目 7単位	不要	

本学で全ての単位を修得した場合、「司書資格証明書」が発行可能です。他大学での不足単位のみを希望する場合は1科目から履修可能で、単位修得・成績証明書により資格が証明できます。

開設授業科目	単位	履修形態	開講時期	履修方法	図書館法施行規則で定める科目名
生涯学習論1(生涯における学習設計)	2	T	春・秋	TかSを選択履修	生涯学習概論
	2	S	春		
図書館概論	2	T	春・秋	必修	図書館概論
図書館経営論	1	T	春・秋	必修	図書館経営論
図書館サービス論	2	T	春・秋	必修	図書館サービス論
情報サービス概説	2	T	春・秋	必修	情報サービス概説
レファレンスサービス演習	1	S	春・秋	必修	レファレンスサービス演習
情報検索演習	1	S	春・秋	必修	情報検索演習
図書館資料論	2	T	春・秋	必修	図書館資料論
専門資料論	1	T	春・秋	必修	専門資料論
資料組織概説	2	T	春・秋	必修	資料組織概説
資料組織演習	2	S	春・秋	必修	資料組織演習
児童サービス論	1	T	春・秋	TかSを選択履修	児童サービス論
	1	S	春・秋		
図書及び図書館史	1	T	春・秋	必修	図書及び図書館史
情報化社会と情報の選択 (公共図書館・大学図書館編)	2	T	春・秋	必修	図書館特論

最短半年で取得できますが、お仕事、ご家庭などでご多忙の方には1年以上での単位修得をお勧めしています。予め1年で履修を計画した場合に加算される学費は学期ごとに必要な学籍管理料(12,000円)のみのため、学費面での負担も少なく、無理なく学習を進められます。

半年での履修	登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	教科書代	デポジット
総額	20,000円	12,000円	14科目 22単位	158,000円	190,000円	約35,000円 ¹	3,000円 ²

1年での履修例	登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	教科書代	デポジット
総額	20,000円	24,000円	14科目 22単位	158,000円	202,000円	約35,000円 ¹	3,000円 ²
内訳	初学期	20,000円	6科目 11単位 ³	42,000円	74,000円	約15,000円	3,000円
	次学期	0円	8科目 11単位 ³	116,000円	128,000円	約20,000円	0円

1 教科書代は1科目2,500円前後(科目により異なる)

2 デポジット(預かり金)は、証明書発行手数料などが必要となった場合充当。残額は学習終了時に返金。

3 6科目と8科目に限らず任意で分割履修が可能

学芸員

学士の学位をお持ちの方が所定科目の単位を修得すると資格が取得できます。

最短期間	合計費用	学歴要件	科目・単位数	スクーリング	通学	備考
1年～	160,500円～	学士(大卒)以上	7科目 14単位	1科目 2単位 + 実習	不要	博物館で1～2週間程度の実習が必須

本学で博物館実習の履修を希望する場合には実習以外の6科目を全て本学で修得済みである必要があります。他大学での不足単位のみ希望される場合、博物館実習以外の科目は1科目から履修可能ですが、実習は履修できませんのでご注意ください。

開設授業科目	単位	履修形態	開講時期	履修方法	博物館法施行規則で定める科目名
生涯学習論1(生涯における学習設計)	2	T	春・秋	TかSを選択履修	生涯学習概論
	2	S	春		
博物館学(概論)	2	T	春・秋	必修	博物館概論
博物館学(経営論・情報論)	2	S	春・秋	必修	博物館経営論
					博物館情報論
博物館学(資料論)	2	T	春・秋	必修	博物館資料論
視聴覚教育メディア論	1	T	春・秋	必修	視聴覚教育メディア論
教育の理論	2	T	春・秋	必修	教育学概論
博物館実習	3	RS	春・秋	必修	博物館実習

博物館実習は、実習担当教員と相談のうえ、学生さんが居住地や興味・関心を考慮し該当する博物館について、「学生の実習を受け入れているか」「受け入れ可能な場合の時期や条件」などを各自で調査します。その上で、条件が合えば大学から該当施設に正式に実習の依頼を行い、1週間程度の実習を行うものです。

博物館実習の時期や期間は実習先の博物館により異なりますが、各博物館のおおよその傾向として、本学の春学期(4月～9月)の後半にあたる7～8月ごろに実習期間を設け、前年度末～春学期初めの時期に実習生を募集しているところが多く、秋学期(10月～3月)にあたる時期に実習生の受け入れをしている館は少ないようです。

そのため、春学期から1年での履修を希望しても秋学期に実習先が決まらず、結果的に1年半以上の履修となる場合もあります。実習を希望する博物館の実習時期や条件についての情報を早めに収集し、また、担当教員に相談しながら計画的に学習を進めることをお勧めしています。

最短1年で取得でき、3年までの長期履修計画も可能です。長期履修を計画した場合に加算される学費は学期ごとに必要な学籍管理料(12,000円)のみのため、学費面での負担も少なく、無理なく学習を進められます。

1年での履修例		登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	+	教科書代	デポジット
総額		20,000円	24,000円	7科目 14単位	116,500円	160,500円		約17,500円 ¹	3,000円 ²
内訳	初学期	20,000円	12,000円	6科目 11単位 ³	79,000円	111,000円		約15,000円	3,000円
	次学期	0円	12,000円	1科目 3単位 ³	37,500円	49,500円		約2,500円	0円 ⁴

1年半での履修例		登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	+	教科書代	デポジット
総額		20,000円	36,000円	7科目 14単位	116,500円	172,500円		約17,500円 ¹	3,000円 ²
春学期		20,000円	12,000円	6科目 11単位 ³	79,000円	111,000円		約15,000円	3,000円
秋学期		0円	12,000円	0科目 0単位 ⁵	0円	12,000円		0円	0円
春学期		0円	12,000円	1科目 3単位 ³	37,500円	49,500円		約2,500円	0円 ⁴

1 教科書代は1科目2,500円前後(科目により異なる)

2 デポジット(預かり金)は、証明書発行手数料などが必要となった場合に充当。残額は学習終了時に返金。

3 博物館実習は6科目11単位の修得後の履修となる。

4 博物館実習を履修する学期は、実習費として、2万円程度が必要です。

5 博物館実習を次学期に履修するためなど、履修科目0で在学のみとすることも可能。

学校図書館司書教諭

教育職員免許状をお持ちの方が所定科目の単位を修得すると資格が取得できます。

本学は教員免許課程認定大学ではないため、すでに教員免許状を取得済みの方のみが対象となります。

最短期間	合計費用	学歴要件	科目・単位数	スクーリング	通学	備考
半年～	92,000円～	短大卒以上	5科目 10単位	0科目	不要	教員免許状を持つ方のみ対象

本学で全ての単位を修得した場合、本学から文部科学省へ司書教諭講習修了証書の申請を行います。他大学での不足単位のみを希望する場合は1科目から履修は可能ですが、文部科学省へは個人申請をお願いします。

開設授業科目	単位	履修形態	開講時期	履修方法	学校図書館司書教諭講習規程で定める科目名
学校経営と学校図書館	2	T	春・秋	必修	学校経営と学校図書館
学校図書館メディアの構成	2	T	春・秋	必修	学校図書館メディアの構成
学習指導と学校図書館	2	T	春・秋	必修	学習指導と学校図書館
読書と豊かな人間性	2	T	春・秋	必修	読書と豊かな人間性
情報化社会と情報の選択	2	T	春・秋	必修	情報メディアの活用

司書教諭は単位修得後に文部科学省へ申請し司書教諭講習の修了証書を交付されて始めて有資格者となります。文部科学省への申請は毎年7月頃、年に1回のため、学習終了時期により修了証書の交付までの期間が異なりますのでご注意ください。

春学期末(9月)に学習を終了すると、翌年7月頃に申請、翌々年3月に修了証書が交付されます。

秋学期末(3月)に学習を終了すると、同年7月頃に申請、翌年3月に修了証書が交付されます。

申請中は単位修得証明書により資格取得見込みであることが証明できます。

半年での履修		登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	教科書代	デポジット
総額		20,000円	12,000円	5科目 10単位	60,000円	92,000円	約12,500円 ¹	3,000円 ²

1年での履修例		登録料	学籍管理料	科目・単位	授業料	学費合計	教科書代	デポジット
総額		20,000円	24,000円	5科目 10単位	60,000円	104,000円	約12,500円 ¹	3,000円 ²
内訳	初学期	20,000円	12,000円	2科目 4単位 ³	24,000円	56,000円	約5,000円	3,000円
	次学期	0円	12,000円	3科目 6単位 ³	36,000円	48,000円	約7,500円	0円

1 教科書代は1科目2,500円前後(科目により異なる)

2 デポジット(預かり金)は、証明書発行手数料などが必要となった場合充当。残額は学習終了時に返金。

3 2科目と3科目に限らず任意で分割履修可能。

(2) 履修証明

2007年に学校教育法が改正され、大学等による「履修証明制度」が創設されました。社会人等を対象とした履修証明プログラムの修了者に対して、履修証明書を交付できる制度です。従来の学士等の学位とは異なる、新しい履修・学習の証明となります。

ビジネス・コミュニケーション基礎スキルプログラム

ビジネスの場面で必要なコミュニケーション能力を身につけるプログラムです。仕事に生かすことのできる読解能力、論理思考力、表現力、対人コミュニケーション力が体系的に身につきます。

必修/選択(時間数)	科目名	単位数	履修形態
必修科目(3科目63時間) 右の3科目63時間を必修とする。	自己表現力スキル1	2	S
	文章表現1(文章表現入門)	2	S
	リーダーシップとコーチング	2	S
選択科目(3科目63時間) 右から3科目63時間を選択すること。	読解力スキル1(実践的読解力)	2	S
	読解力スキル2(学術文書読解)	2	S
	論理的思考2(論理と表現)	2	S
	プレゼンテーション・スキル	2	S
	経営と行動科学	2	S
	アイデア発見スキル1(語句・文章から)	2	S
	アイデア発見スキル2(物・論理から)	2	S
合計時間数	126時間(必修63+選択63)		

S:スクーリング履修(面接授業)

現代経営学の基礎スキルプログラム

現代産業を展望し、経営学を実践面から学ぶプログラムです。現代の産業や企業論から始まり、現実的な経営論の基礎と応用、経営におけるリーダーシップ、コーチングのスキル、問題解決・意思決定、顧客志向の経営等を学ぶことにより、即戦力としての技量を身につけることができます。

必修/選択(時間数)	科目名	単位数	履修形態
必修科目(3科目63時間) 右の3科目63時間を必修とする。	現代マネジメント概論Ⅰ(基礎編)	2	S
	現代マネジメント概論Ⅱ(応用編)	2	S
	経営と行動科学	2	S
選択科目(3科目63時間) 右から3科目63時間を選択すること。	日本経済・産業概論	2	S
	現代日本企業概論	2	S
	仕事学のすすめ(問題解決と意思決定)	2	S
	リーダーシップ論	2	S
	リーダーシップとコーチング	2	S
	顧客価値創造の経営学	2	S
	構想力開発論	2	S
合計時間数	126時間(必修63+選択63)		

S:スクーリング履修(面接授業)

T(テキスト履修)でも開講されるが、履修証明の取得希望者は必ずスクーリングで履修すること。

日本語基礎スキルプログラム

社会人として必要となる、日本語で文章を書き、伝える能力の基礎を、演習形式を基本とした科目によりトレーニングするためのプログラムです。対象科目は文章力・論述力の向上を目指す科目を中心としており、それらの科目を履修していくことで、バランスのとれた日本語のスキルを身につけることができます。

必修/選択（時間数）	科目名	単位数	履修形態
必修科目（2科目42時間） 右の2科目42時間を必修とする。	文章表現1（文章表現入門）	2	S
	論述力スキル（アカデミック・ライティング）	2	S
選択科目A（4科目84時間） 右から4科目84時間を選択すること。	文章表現2（文章と構成）	2	S
	自己表現力スキル1	2	S
	自己表現力スキル2	2	S
	プレゼンテーション・スキル	2	S
	論理的思考1（数学的思考と発想）	2	S
	論理的思考2（論理と表現）	2	S
選択科目B（1科目21時間） 右から1科目21時間を選択すること。	読解力スキル1（実践的読解力）	2	S
	読解力スキル2（学術文書読解）	2	S
	ラピッドリーディング・スキル	2	S
合計時間数	147時間（必修42+選択A84+選択B22）		

S：スクーリング履修（面接授業）

（3）科目修得認証

一定のメニュー科目の単位を修得したことに対する本学独自の認証で、自己啓発歴、研修歴、学習歴に加えたり、自己アピールに使ったりできるようにするものです。申請者には、本学が認証書を発行します。

生涯学習科目修得認証

生涯学習支援を行う場合に必要な知識の修得を目指します。生涯学習科目修得認証を取得後、社会教育主事資格科目からさらに10単位（必修の社会教育計画4単位、社会教育課題研究4単位を含む）を取得すると、社会教育主事の資格が得られます。

必修/選択（単位数）	科目名	単位数	履修形態
必修科目（4単位）	生涯学習論1（生涯における学習設計）*	2	TまたはS
	生涯学習論2（生涯学習の支援・推進）*	2	T
選択科目（10単位） 右から5科目10単位を選択する。	現代社会と生涯学習	2	S
	生涯学習政策	2	T
	学社連携・融合論	2	T
	生涯学習社会と学習成果の評価	2	T
	生涯学習とキャリア形成	2	T
	学習支援情報・学習相談	2	T
合計単位数	14単位		

T：テキスト履修 S：スクーリング履修（面接授業）

*生涯学習論は科目代替可。詳細はお問い合わせ下さい。

学習相談員基礎スキル科目修得認証

人々の学習相談に応じ、適切な情報提供サービスを行う人材が求められています。生涯学習関連施設や地域で、生涯学習のさまざまな相談ができるスキルを身につけます。

必修/選択(単位数)	科目名	単位数	履修形態
必修科目(10単位)	生涯学習論1(生涯における学習設計)*	2	SまたはT
	学習支援情報・学習相談	2	T
	生涯学習の方法	2	T
	学習相談のためのカウンセリング	2	T
	地域学習支援情報の収集・提供	1	T
	学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	1	T
選択科目(4単位) 右から2科目4単位を 選択する。	生涯学習論2(生涯学習の支援・推進)*	2	T
	社会教育計画1(総論)	2	T
	社会教育計画2(各論)	2	T
	生涯学習とキャリア形成	2	T
	社会教育施設と事業	2	T
合計単位数	14単位		

T:テキスト履修 S:スクーリング履修(面接授業)

*生涯学習論は科目代替可。詳細はお問い合わせ下さい。

仕事移動診断士科目修得認証

仕事移動診断士は、転職、再就職の希望やボランティアなどの地域社会活動で別の活動に移りたいという人の希望を専門的知識・技法で診断し、社会の活性化に貢献しようとする専門家です。仕事移動診断の技法は高校、大学等での就職相談でも活用できます。

必修/選択(単位数)	科目名	単位数	履修形態
必修科目(14単位) 右の7科目14単位すべて を履修する。	仕事移動診断総論	2	T
	仕事移動診断各論(転職)	2	T
	仕事移動診断各論(地域社会活動移動)	2	T
	仕事移動診断技法(転職)	2	SS
	仕事移動診断技法(地域社会活動移動)	2	SS
	生涯学習論1(生涯における学習設計)*	2	SまたはT
	学習支援情報・学習相談	2	T
合計単位数	14単位		

T:テキスト履修 S:スクーリング履修(面接授業) SS:セミナースクーリング履修(少人数制限科目)

*生涯学習論は科目代替可。詳細はお問い合わせ下さい。

企業とマネジメントの基礎スキル科目修得認証

社会や企業に求められるマネジメント能力、問題解決能力や意思決定能力、コミュニケーション能力等を修得します。起業を考えている人、再就職を考えている人、即戦力として自分の能力を生かしたい人を対象としています。

必修/選択(単位数)	科目名	単位数	履修形態
必修科目(4単位)	現代日本企業概論	2	S
	現代マネジメント概論Ⅰ(基礎編)	2	SまたはT
選択科目Ⅰ(4単位) 右から2科目4単位を選択する。	テクノロジーの発達とヒューマニティ	2	S
	実践マーケティング	2	S
	生産管理	2	
	日本経済・産業概論	2	S
	企業経営とコーポレート・ガバナンス	2	
	経済学概論	2	S
	経済学概論	2	S
選択科目Ⅱ(6単位) 右から3科目6単位を選択する。	構想力開発論	2	S
	リーダーシップ論	2	S
	現代マネジメント概論Ⅱ(応用編)	2	S
	顧客価値創造の経営学	2	S
	アイデア発見スキルⅠ(語句・文章から)	2	S
	プレゼンテーション・スキル	2	S
	読解力スキルⅠ(実践的読解力)	2	S
近代企業家の思想と行動	2	S	
合計単位数	14単位		

S: スクーリング履修(面接授業)

省エネ型都市・地域づくり科目修得認証

資源エネルギーの保全や保護、地球環境保護について見識を高め、経済生活やまちづくりの公共部門に応用する知識が得られます。これらをもとに具体的な政策提言を行う基礎能力を身につけます。

必修/選択(単位数)	科目名	単位数	履修形態
必修科目(7科目14単位) 右の7科目14単位すべてを履修する。	資源環境と人間	2	S
	テクノロジーの発達とヒューマニティ	2	S
	地域開発・まちづくり論	2	T
	財政学概論	2	T
	現代日本企業概論	2	S
	リーダーシップ論	2	S
	法学概論	2	S
合計単位数	14単位		

T: テキスト履修 S: スクーリング履修(面接授業)

社会人基礎力（１）科目修得認証

国および産業界が要望している、いわゆる「社会人基礎力」の三本柱（アクション、チーム・ワーク、シンキング）、具体的には、行動力、コミュニケーション力、問題解決力、思考力等について現実的かつ基礎的な能力を身につけることを目的としています。理論のみならず、現実的、実践的な内容を取り入れています。

必修/選択（単位数）	科目名	単位数	履修形態
必修科目（２科目４単位）	現代マネジメント概論Ⅰ（基礎編）	２	SまたはT
	文章表現１（文章表現入門）	２	S
選択科目Ⅰ（２科目４単位） 右から２科目４単位を選択する。	リーダーシップ論	２	S
	リーダーシップとコーチング	２	S
	経営と行動科学	２	S
	プレゼンテーション・スキル	２	S
	現代マネジメント概論Ⅱ（応用編）	２	S
選択科目（３科目６単位） 右から３科目６単位を選択する。	法学概論	２	S
	税務と財務諸表	２	T
	仕事学のすすめ（問題解決と意思決定）	２	S
	構想力開発論	２	S
	アイデア発見スキル１（語句・文章から）	２	S
	アイデア発見スキル２（物・論理から）	２	S
	顧客価値創造の経営学	２	S
	実践マーケティング	２	S
	生産管理	２	
合計単位数	14単位		

T:テキスト履修 S:スクーリング履修（面接授業）

税財務・ファイナンシャルプランナー科目修得認証

経済学、財政学、税金や税務会計の基礎を学びながら、税理士やファイナンシャルプランナー等の資格取得に求められる専門知識も修得します。特に個人や企業等の投資・資産運用に関わる実践的な知識やノウハウを提供します。

必修/選択（単位数）	科目名	単位数	履修形態
必修科目（７科目１４単位） 右の７科目１４単位すべてを履修する。	経済学概論	２	S
	財政学概論	２	T
	地方財政・自治体論	２	S
	法人税法（総論）	２	S
	法人税法（各論）	２	S
	税務と財務諸表	２	T
	株・保険・投資ファンド論	２	T
合計単位数	14単位		

T:テキスト履修 S:スクーリング履修（面接授業）

日本語基礎スキル科目修得認証

大学生や社会人に必要な、日本語で文章を書き、伝える能力の基礎を、演習形式を基本とした科目によりトレーニングします。文章力・論述力の向上を目指す科目を中心に履修することで、バランスのとれた日本語のスキルを身につけます。

必修/選択（単位数）	科目名	単位数	履修形態	
必修科目 （2科目4単位）	文章表現1（文章表現入門）	2	S	
	論述力スキル（アカデミック・ライティング）	2	S	
選択科目 （5科目 10単位）	右の科目群から 4科目8単位を 選択する。	情報リテラシー （情報活用から考え方・書き方まで）	2	T
		文章表現2（文章と構成）	2	S
		自己表現力スキル1	2	S
		自己表現力スキル2	2	S
		プレゼンテーション・スキル	2	S
		論理的思考1（数学的思考と発想）	2	S
		論理的思考2（論理と表現）	2	S
	右の科目群から 1科目2単位を 選択する。	読解力スキル1（実践的読解力）	2	S
		読解力スキル2（学術文書読解）	2	S
		ラピッドリーディング・スキル	2	S
合計単位数	14単位			

S：スクーリング履修（面接授業）

（4）税理士等の資格の取得支援

本学では、税理士（国家資格）や簿記（日商簿記2級・3級）など会計・税財務ファイナンス分野の資格・検定の取得支援を行っています。税法や財務諸表の基礎を学び、実践力の高い社会人・ビジネスパーソンの養成を目指します。

下表は、税理士試験に必要とされる「受験資格」を取得できる本学開設の科目一覧です。

税理士試験に要する「受験資格」を取得できる本学開設科目一覧表

科目名	履修形態
経済学概論	S
法学概論	S
日本経済・産業概論	S
財政学概論	T
地方財政・自治体論	S
法人税法（総論）	S
法人税法（各論）	S
税務と財務諸表	T
株・保険・投資ファンド論	T

開講する期にご注意ください。

【紹介】

リニューアル！ 生涯マネジメント系

生涯マネジメント系では、資格取得支援のほか、下表のように「社会人のためのビジネス行動化能力（コンピテンシー）育成のための科目群」を設定しています。この能力は、いま、ビジネス等では最も強く求められており、そのような社会の要請に応える科目で構成されています。

履修計画を立てる際には、国家資格、履修証明、科目修得認証等の科目一覧（11～21頁）と併せて参考にして下さい。

社会人のためのビジネス行動化能力(コンピテンシー)育成のための科目群			
人的資源論	企画・想像力・発想力	才能発揮技法 アイデア発見スキル1(語句・文章から) 論理的思考1(数学的思考と発想)	構想力開発論 アイデア発見スキル2(物・論理から) 論理的思考2(論理と表現)
	問題発見・解決力	現代マネジメント概論(基礎編) 顧客価値創造の経営学	仕事学のすすめ(問題解決と意思決定)
	コミュニケーション力	自己表現力スキル1 プレゼンテーション・スキル	自己表現力スキル2
	情報収集・活用と 着眼力	情報リテラシー (情報活用から考え方・書き方まで) 読解力スキル1(実践的読解力)	ラビッドリーディング・スキル
組織イノベーション論	組織力・チームワーク・ コラボレーション力	現代マネジメント概論(応用編) リーダーシップ論	経営と行動科学 リーダーシップとコーチング
	起業・社会参画	現代日本企業概論 仕事学のすすめ(問題解決と意思決定) 近代企業家の思想と行動 都市経営・公共政策論 仕事移動診断総論 仕事移動診断各論(地域社会活動移動) 仕事移動診断技法(地域社会活動移動)	現代マネジメント概論(応用編) 実践マーケティング 地域開発・まちづくり論 テクノロジーの発達とヒューマニティ 仕事移動診断各論(転職) 仕事移動診断技法(転職)
	経営・財務と 企業ガバナンス	現代マネジメント概論(基礎編) 企業経営とコーポレート・ガバナンス 生産管理 企業倫理(基礎) 法人税法(総論) 税務と財務諸表	現代マネジメント概論(応用編) 実践マーケティング 企業(仕事)と法律 企業倫理(応用) 法人税法(各論) 株・保険・投資ファンド論

日本語力サポートプログラム

下記の科目を中心に、正しい日本語の書き方を指導し、日本語力アップをサポートします。

科目名	履修形態
「文章表現1(文章表現入門)」	S
「論述力スキル(アカデミック・ライティング)」	S
「情報リテラシー(情報活用から考え方・書き方まで)」	T

ご質問、お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ

八洲学園大学 学生支援センター

〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町7丁目42番地

電話 : 045-410-0515(平日 9:00 ~ 21:30、土日祝 9:00 ~ 17:00)

メール : u-info@yashima.ac.jp